

小林八幡神社付城跡コース

コース 約5.5km

1時間20分
(見学時間を除く)

所要時間の目安

起点 志染駅

25分

1 小林八幡神社付城跡

20分

2 明石道峯溝付城跡

15分

3 八幡谷ノ上明石道付城跡を望む

20分

終点 三木駅



明石道峯溝付城跡
(国史跡)



明石道が直下を通過する尾根の先端に位置し、主郭・西郭・東郭で構成されています。主郭は土塁が全周し、東と東南には堀が巡っています。主郭・西郭の本郭部と東郭を駐屯地とする二重構造の付城です。城主は不明です。

2 (国史跡) 明石道峯溝付城跡

3 八幡谷ノ上明石道付城跡



主郭とその西側の曲輪が中心部、主郭東側の土塁団みの2つの曲輪が軍勢の駐屯地です。現在、主郭は市道建設により、土塁・虎口・壘堀等の一部を残すのみとなっていますが、その周辺の遺構の残存状況は良好です。

1 (国史跡) 小林八幡神社付城跡

■コース紹介

三木合戦の半ばごろ、織田信長の長男・信忠の軍勢が築いたとされる6か所の付城のうち、2か所(小林八幡神社付城跡・明石道峯溝付城跡)を巡るコースです。

■小林八幡神社付城跡 (平成25年3月国史跡指定)

別所町小林の八幡神社境内及びその周辺に位置しています。天正7年(1579)4月に織田信忠の軍勢が築いた6か所の付城の1つと考えられます。城主は不明です。

■八幡谷ノ上明石道峯溝付城跡

明石道の東尾根上に位置しています。天正7年10月7日に包囲網を縮小して築かれた「南八幡山」(『播州御征伐之事』)に相当すると考えられます。城主は『播磨鑑』『別所軍記』によると、間島氏勝・福原長弁とされています。

凡例

- トイレ
- 駐車場